

分類	記号番号	教材名	教材の内容	分類コード	映像形態	上映時間	対象者
人権教育	S414	愛が聞こえますか	一才半のころ髄膜炎がもとで聴覚と言語を失った遼子は、聾啞者としてのハンディキャップを乗り越え、聾学校から普通公立小学校、中学校へと進学するが、健常児とともに生きることは難しいことだった。遼子の努力により授業もまずは何の支障もなかったが、しかし、ついに最初の試験がやってきた。「私の耳は聞こえない。でも聞こえる人を羨ましく思ったことはない。聞こえないことは、たくさん人の優しさを教えてくれた。今、私の耳にはただ愛だけが聞こえている。」?静かな感動をよぶ作品である。	01-04	実写	54	中高成
	S448	いつも一緒に	中1の真理子とみゆきは小学生の頃からの大の仲良し。だが、みゆきがバレー部のレギュラーに選ばれてから少々おかしな具合になってきた。ふとしたことからみゆきを無視するグループに誘い込まれた真理子は、みゆきから「無視しないで」と訴えられるが、仲直りできない。	01-02	実写	21	中
	S416	心をむすぶ愛のハーネス	先天性緑内障という病気で失明した小百合さんは、お父さんや盲導犬協会の人たちの努力で、盲導犬カンナと出会う。二人はハーネス（盲導犬につける引き具）をとおして信頼を深め、やがて二人はロードレースに出場することにする。	01-04	実写	55	小中高成
	S512	ごめんね、ミーちゃん	「いのちの大切さ」そして「相手を思いやる気持ち」。そんな当たり前のことが今、子どもたちの心から失われつつあります。このアニメーションは、幼児・小学校低学年向けのわかりやすく心あたたまるストーリーの中で、どんな生きものにも尊いいのちがあること、それを大切にしなければならないのだということ、を、やさしく、そして力強く、訴えかけます。	01-02	実写	12	幼小
	S372	太郎のかがみ	転校してきた太郎（小学校6年）は障害児である。それを知らないクラスの子も達は、太郎を仲間はずれにし、いじわるをする。登校しなくなった太郎の心を知った担任の橋本先生は、同和地区で育った自分の経験・太郎の障害のことなどをクラスで話し、子供達は知らず知らずの内に太郎を差別していたことを悟り、心から詫びて太郎を受け入れる。	01-01	実写	56	小中成
	S437	友だちの心の痛み	5年2組の休み時間。黒板の隅の落書が一騒動を起こしました。父子家庭の真理と守に対するいじめでした。担任の武田先生は「いじめや友だちのいない子をなくそうというクラスの決まりはどうなったのか」と問いかけました。いじめた子に、そして傍観した子に。	01-03	実写	25	小
	S401	にぎやかな家族	東京のサラリーマン家族が関西のある同和地区に引っ越した。初めて出会う同和問題への家族一人ひとりの反応と態度の変容を明るく伸びやかなタッチで描いた作品、心の奥にひそむ差別意識の克服に努力する過程を通して、人間どうし心から結びつくことの素晴らしさを訴える。	01-01	実写	55	成
	S399	鉢かづき姫	いじめと差別のなかで中で、苦境にもめげず、力強く生きる鉢かづき姫の物語は、今日の社会における親子の関係や人権問題について語りかける。	01-01	アニメ	34	小中
	S462	ぼくの青空	お母さんが義人の異常に気づいたのは、保育園の運動会のことでした。病院に連れていくと、進行性筋ジストロフィーで、あと3年の命だと宣告されます。その後小学校へ入学した義人は、さまざまな困難に直面しながらも、周りの励ましに勇気づけられ学校生活を送ります。希望と感動を与えてくれる作品です。	01-04	アニメ	26	小中
	S390	まっ赤になったにわとり	干ばつに苦しみ、差別にしいたげられたどん底の生活の中でも、助け合い励まし合ってきた村人たちが、非道な権力者に闘いを挑んだ。河内の国を舞台に、差別と権力に立ち向かう村人の抵抗の姿を民話のアニメーションをとおして訴える。	01-01	アニメ	44	小中
K795	麻子の場合	同和问题など「対岸の火事」でしかなかった一人の主婦が、ふとした「火の粉」を浴びたことから、妻として、女性としてそして何より人間として自らの解放の扉を開き始めようとする過程を描く。家庭や地域のあり方を問いかけながら50分間をぐいぐい引きつける。最後はこの先あなたはと言うと言わんばかりの余韻を残した意欲作品。	01-01	実写	50	成	
K823	紫陽花のころ	同和地区の青年と結婚して三年たった大坪恵は、いまだに結婚を認めようとしない父のもとに再三通い、父の間違いを正そうとする。しかし、兄夫婦や叔母は偏見をもち、逆に恵夫婦をなじる。毅然として反論する恵に、やがて母が同調してくれた。	01-01	実写	30	高成	

K779	雨の指もじ	同和地区に住む大塚源、まさえ夫婦はともに文字の読み書きができない。四人の子ども達はその文字がわりをしている。子どもの勤めにより、源とまさえは生まれて初めての手紙を書くのであった…。部落差別の結果、文字を奪われていた苦しみを克服し、学ぶ喜びを知り、新しい生き方を発見していく姿を感動的に描いたドラマです。	01-01	実写	54	高成
K778	ありがとうハーナ	中学生の美樹は、病気で失明寸前と知って絶望してしまうが、走ってくる自転車から美樹をかばい、下半身麻痺の重症を負った愛犬のハーナが、車椅子を付けて歩く練習をしている姿に勇気づけられ次第に立直っていく。	01-04	実写	45	中
K824	輝ける日々へ	高校3年生の田上雅子は、就職を目前に控えている。希望に胸ふくらませ、社会に飛び立とうとする彼女の前に、差別の厚い壁が立ちふさがる。本人の能力・適性以外のことが採用の基準にされたら・・・。	01-01	実写	42	高成
K803	風のおとずれ	同和地区の青年との結婚に反対し、結婚式にも出なかった父親が、娘の家(同和地区)を初めて訪ねる。その地区で出会った昔の会社の同僚や次郎という青年、老人、そして娘夫婦とのふれ合いを通して、自分の生き方を問い直し、次第に心を開いていく父親の様子を描いた作品。	01-01	実写	53	高成
K838	がんばれまあちゃん	生まれつき耳が聞こえず、話もできない5歳のまあちゃんが、障害にぶっかりながらも温かな家族に見守られて成長していく姿を姉・かよの目を通して描きます。施設に入ってがんばるまあちゃんや、まあちゃんが戻ってくる日のために手話を習うおばあちゃんの姿が感動を誘います。	01-04	実写	48	小
K782	きつねのかんちがい	子ぎつねが過って井戸に落ちて死んだのをある若者が殺したと勘違いした狐たちが仕返しをする。若者は誤解を解くため、ただ一人真実を訴えて行動する。科学的なものの見方や考え方を身につけ、自分の意見をはっきり主張し、行動できるようにとの願いがこめられている。	01-02	アニメ	28	小
K820	くらしの中にひそむ偏見	あるサラリーマンを中心としたごく日常的な1日の生活を描くことにより、身の回りにある様々な差別を私たちがいかに認識しているかを問いかける。主人公の木村は朝のジョギングから戻り、朝刊がまだ来ていないことに気づく。アルバイトの配達員のせいにするが・・・。	01-01	実写	34	高成
K796	心の壁	ある会社での同和問題研修推進員になった主人公が、企業や会社の差別意識や偏見の中で苦悩する。かつて、差別の現実から逃げた彼は、今、揺れ動く心の中から、これまでの自分の生き方を見つめ直し、自分の納得する道を歩み始める。	01-01	実写	55	成
K836	心の叫びが聞こえますか ~いじめ, 自殺を考える~	いじめに悩み死を選んだ男子中学生と、自殺未遂に追い込まれた女子中学生の二人の両親の思いを通していじめを検証します。そして、いじめにあっている子どもを早い段階で救うために親のあり方を示しながら、家庭、学校、地域それぞれの立場でいじめをなくす大切さをアピールします。	01-03	実写	35	中高成
K831	心のどこかに	道を隔てて仲良く暮らしていた山岡、伊藤の両夫婦。山岡の妻、由美子は手頃な中古住宅が見つかり早速決めてきましたが、翌日不動産業者から断ってきました。「そうや、私を同和地区の人間と間違ってるのやわ・・・」心のどこかにある差別の心が由美子の中で現れました。	01-01	実写	30	中高成
K868	心ひらくとき	人権ってなんだろう・・・この物語の主人公は、その答えを探るべく「人が幸せになる権利」という視点から、人権問題の取材を進めていきます。そして、改めて日常の中に見えかくれする差別や偏見に気づきます。	01-02	実写	55	成
K821	この街に生きる ~くらしの中にひそむ偏見PARTII~	あるサラリーマンの休日をとおして、身の回りの差別を見抜く目を養う。特に地域社会の一員としての問題に焦点を当て、さらに、環境問題、高齢化社会に向かっている問題、外国人労働者の問題など、幅広い人権の見地から考えられている作品。	01-01	実写	34	高成
K853	こんど逢うとき	祖父母の故郷を訪ねて感動する日系三世の孫娘。しかし、今なお日本に差別が残っている事に大きなショックを受ける。同和问题・外国人に関する問題等、様々な人権問題と向き合いながら、「すべての人が理解し合い、認め合って手をつなげば差別はなくなる」という思いを持つようになっていく。	01-01	実写	55	高成

K856	サインはストレート	青葉高校野球部は部員が9人揃わず、新入部員の勧誘に必死になっていました。同和地区の生まれである直人は、野球部からの誘いに対して入部を拒み続けますが、クラスメイトである淳子の勧誘によって少しずつ心を開き、野球を始めるようになります。そして試合の当日・・・。	01-01	実写	45	高
K876	咲ちゃんのおふるやさん	あなたのクラスにいじめられている子やいじめている子はいませんか。この作品の咲子といっしょに考えてください	01-03	実写	43	小中
K797	旅路	自らの差別意識に悩み続けてきた人、差別に苦しみながら闘っている人びと・・・。それぞれの道が結び合おうとする過程をドキュメンタリータッチで描き、差別問題の根源を考える。それぞれの人物が持つ、隠された心の壁に思いをさせたい。総務庁と全日本同和対策協議会の企画作品。	01-01	実写	55	成
K805	翔べ明日へ	結婚に関わる身元調査や不当な基準を示した採用マニュアルを持つ企業への怒り、同和地区出身の女性との結婚に破れた友人の思い等を通して、ゆれ動きながらも、勇気をもって翔び立とうとする若者の様子を描いた作品。被差別の視点に立つことにより、それぞれの心にある「差別性」を問い直していく。	01-01	実写	57	高成
K785	友子よ、晴れない霧はない	障害者や転校生へのいじめと部落差別が同じ根からでていることに気づいた友子（中2）が、友達を大切に、差別を許さない真っすぐな心に成長する姿を描く。学級づくり、家庭・地域づくりに生徒・教師・保護者がともに取り組む意欲の大切さを訴える。	01-01	実写	42	中成
K889	どんぐり森へ～ひとりにひとつのたからもの～	虫をいじめていたわんぱく少年が、どんぐり森で体験する不思議な出来事を通して、どんな生き物にも命があり、それは、たったひとつしかなく、失うと戻ってこない大切なものであることを学んでいきます。	01-02	アニメ	15	幼小
K835	はるか素顔の19歳	プロゴルファーになる夢を抱いてゴルフ場で働く娘・はるか、客の一人が、一人娘と同和地区の青年の結婚に反対する話をしているのを聞いてショックを受けます。はるかは同和地区出身でしたが差別の事例を目の当たりにするのは初めてでした。それからのはるかのがんばりが始まりました。	01-01	実写	54	中高成
K786	春に向かって	ある結婚をとおして、部落差別は人と人のつながりを不合理に、無情に断ち切るもので、いのちにかかわる重大な問題であること。差別を乗り越えて人と人が真実で触れ合う社会にするにはどうすればよいかを考えさせる。熊本弁に親しみがもてる。	01-01	実写	55	成
K780	ふるさとへの熱き思い	総務庁と全日本同和対策協議会が企画した、世界人権宣言40周年記念のドキュメンタリー。部落差別がさまざまな角度から証言される。淡々と語られる差別体験。その静かな口調の奥にある心の叫びを感じとりたい。	01-01	実写	55	高成
K872	ぼっぼちゃんの目につき	この作品は、ハンデを背負いながらも明るく元気いっぱい生きる少女を通して、障害児教育の在り方、障害児と家族との関わり、日本人特有の社会生活の中での閉鎖性などを身近な問題を取り上げ描いています。	01-03	実写	40	小中高成
K784	燃える舞い	同和地区の中で育まれた芸能が、どのような人々と一緒に、どのような生き方の中で、その歴史を刻みこんできたのか。今日までその芸能を支えてきた人々の苦勞に焦点をあてている。同和地区の伝統文化を積極的に評価しようとするドキュメント作品。総務庁製作。	01-01	実写	55	成
K814	やさしい愛をください	暴走族・達也と繭子の乗った車が、健一の愛犬タローを跳ねた。それ以来、ショックで口が利けなくなった健一と、その車に同乗し心を痛めた繭子。この二人が「ふれあい動物園」で再会し、そこに働くやさしい人々と共に下半身不随になったタローの車椅子作りに挑戦する。	01-04	実写	41	小中高
K832	勇気ある選択 ～許さないじめ～	いじめを知りながら見ないふりをする多くの傍観者たちの存在がいじめ問題の解決を遅らせています。もし、身近にいじめ問題が起きたときどう対峙したらよいでしょうか。この作品は偶然いじめの現場を目撃した生徒の悩みを通して「いじめ根絶」のための糸口をみんなで考えていく教材です。	01-03	実写	25	中
K837	友情のキックオフ！	仁美の小学校に転校生の誠がやってきた。誠はサッカーチームのエースになるが、誠の転校前に住んでいた町が同和地区だと知れわたり周りのみんなからのいじめが始まった。仁美は「差別は間違っている。絶対に！」と言って立ち上がり、みんなは友情を取り戻していく。	01-01	アニメ	27	小中

	K830	夢の木すとリーと	居酒屋「夢の木」を営む女主人・花。部落出身の青年との結婚問題をとおして、互いに悩み合う常連客の父と花を母のように慕うその娘。世間体のために、花を老人ホームに入所させようとする息子。理由あって、花が預かっている遠縁の娘。それぞれの問題が「夢の木」でぶつかり合います。	01-01	実写	54	中高成
	K804	葦笛（よしぶえ）がひびくまち	「よそ者差別」の悩み、いきどおりを感じながら、一方では、相手が同和地区出身であるという理由で娘の結婚に反対する父親を心の葛藤を通して、同和問題解決への展望とその実践の在り方を探っていく作品。	01-01	実写	50	高成
	K817	私は負けない	くせ毛の小学5年生ひろみは「スパゲッティ」とか「もんじゃもんじゃ」と呼ばれ、悲しい思いをしていた。ある日、担任の山本先生に励まされ、学級会で自分の気持ちを勇気を持って発表する。学級のみならず心も動かされ、その気持ちは全校に広がっていた。	01-01	実写	25	小
平和教育	S320	戦場ぬ童（いくさばぬわらび）	「戦世やならん、戦やしちえーならん」1フィート運動が入手した、沖縄戦の大量な記録フィルムの中にも、そんな幾つかのカットがありました。それは戦争の恐怖にさらされ、傷つき生き残った子どもたちの姿でした。	02-02	実写	26	中高
	S468	お母さんの声が聞こえる ～平和な明日へ～	東京の下町で焼夷弾攻撃によって家族を失い、悲惨な体験をした鶴丸さん。大空襲による火の海の中で、生き地獄をかいくぐってきた高木さん。そして、子供とともに川に飛び込み過酷な爆撃から九死に一生を得た橋本さん。こうした人たちが当時の様子を語り、戦争の悲惨さ、平和の大切さを訴えます。	02-02	実写	31	中高
	S432	かわいそうなぞう	昭和18年、東京の上野動物園にはたくさんの動物たちがいて、子どもたちの人気を集めていました。しかし、空襲が激しくなり、軍隊の命令で動物たちは殺されることになりました。爆弾が動物園に落ち、動物たちが町へ暴れ出したら大変なことになるからです。	02-02	アニメ	17	小
	S389	タイコンデロンガのいる海	ある日、南の島の青い海が白く濁り、腐った匂いもするという。そんなとき、島の少年アカシは、不思議な耳鳴りのなかに鯨の声を聞いた。「たすけて・・・海のみんなを。」鯨の背中に乗ってつれていかれた海は、恐ろしい世界だった。そしてアカシは、海を腐らしている魔物タイコンデロンガの秘密を聞く。	02-02	アニメ	25	小中
	S441	天に焼かれる	広島への原爆投下からの被爆直後の惨状を描いた平和紙芝居をアニメーションにした作品。「原爆は私たちだけで・・・」という運命の日の証言と哀切の叫びを訴え、人間の痛み、家族の愛情、そして原爆の恐怖を、絵を通して子どもたちに語りかけます。	02-01	アニメ	17	小中
	S391	ヒロシマのうた	広島への原爆投下時、私は、重傷の母親に抱かれた赤ん坊のヒロ子ちゃんを通りかかった夫婦に預けた。そして10年たった8月6日、私は、17才になったヒロ子ちゃんに、ありのままを正直に話した。初めて自分の生い立ちを聞かされたヒロ子ちゃん。それでも彼女は、力強く生きていく。心に残る感動のアニメーション映画である。	02-01	アニメ	11	中高
	S488	みいちゃんのでのひら	戦争は人々の心に大きな傷跡を残すものである。昭和20年3月10日、集団疎開を終えて東京に帰ってきた、きくちゃんは、叔父さんの家のお手伝いさん、みいちゃんに会った。二人で手をつないで帰ったその夜、東京大空襲があり、みいちゃんも炎の中を逃げ回った・・・。	02-02	アニメ	24	小中
	K816	火の海・大阪 ～消え去らぬ傷あと～	昭和20年6月1日。空襲警報のサイレンが大阪に鳴り響き、焼夷弾が無差別に落ちてきた。逃げまどう市民。その中に幸子の家族もいた。「熱い」「痛い」人々の泣き叫ぶ声が聞こえる中で、幸子と妹の明子を焼夷弾の破片が襲った。	02-02	アニメ	20	小中
	H050	予言	予言	02-02	実写	41	高
学校教育	S398	日本国憲法	日本国憲法の三大特色である主権在民、平和主義、基木的人権について、またそれらを守るためのシステムである三権分立について、わかりやすい物語形式で展開する。	04-03	アニメ	15	小中
	K748	彫る ～棟方志功の世界～	版画家棟方志功、その溢れるばかりの“芸術の魅力”を映像で解明しようと試みた映画である。	04-04	実写	38	高成

1706	井原西鶴	俳諧から浮世草紙の世界での、近代文学の代表的作家井原西鶴の「好色一代男」「日本永代蔵」をとり上げ、時代背景や特徴を明らかにすると同時に、文章の一部朗読や作品を生んだ土地の実写や絵巻草紙等の資料により、国語学習の資料として製作している。	04-01	実写	26	中高
1736	浮世絵と歌川広重	江戸中期には産業がさかんになり、町人も力をたくわえ、その台頭とともに、新しい文化が発達した。この映像教材は、浮世絵を手がかりとして、当時の町人の暮らしや、新しい文化の特色を具体的にとらえるようにしたものである。特に広重の版画資料やその刷り方なども取り入れて、理解しやすい内容にまとめた作品である。	04-03	実写	22	小
H092	幾山河の歌(牧水)	幾山河の歌(牧水)	04-01	実写	37	高
H012	岡倉天心のころ	日本美術の先駆者として、美術史上に偉大な足跡を残した岡倉天心の波乱に富んだ生涯が、赤倉の山荘で終わりを迎えるまでを前半は文部省とともに、後半は茨城県五浦を中心に彼の弟子である大観、観山、武山等の作品を通してその人となりを探求していく。	04-04	実写	43	高
H013	奥の細道	俳聖芭蕉は門人1名を連れて、元禄2年3月に江戸をたち、日光街道から奥州の白河の関、多賀城跡へと、古来歌によって知られた名所を次から次へと訪れた。全行程2、400キロ。	04-01	実写	20	高
H073	奥の細道の世界	奥の細道が書かれた背景や、実施の文学行脚のようすなどを本文の旅の経路に従って描きながら、漂泊の詩人・芭蕉がこの作品に籠めようと意図したものへと迫ろうとするものです。	04-01	実写	36	高
H010	川端康成と伊豆	「伊豆の踊子」、8年もの間しゃく社の胸に生き続けた踊り子のイメージがこの、そこはかとない哀愁と抒情の名篇を生んだのである。氏が、その死から6ヶ月前、伊豆を訪れたとき、同行して撮影した、氏にとって最後となった記録フィルムで結んでいる。	04-01	実写	30	高
H003	狂言	狂言の起こりは、平安期の猿楽や田楽などの芸能が基になり、今から600年ほど前、室町時代に能とともに生まれたと考えられている。時代によって多少の変化があったにしても、狂言が当時の風俗・習慣・言葉づかいを伝えていると考えられる。今日も、250種類の狂言が、大蔵流・和泉流という2つの流派によって受け継がれている。	04-01	実写	22	高
H093	近世日本が生んだ家康と信長、秀吉	近世日本が生んだ家康と信長、秀吉	04-03	実写	30	高
H055	源氏物語の世界	紫式部によって書かれた長編小説「源氏物語」は日本文学史上の傑作の一つでありまた、広く世界にも知られた作品です。この映画は、「源氏物語」がどのような時代背景や風土の中で展開されるのかを主人公の光源氏の生涯に焦点を絞って描きながら、作品の「文学的な世界」を具体的なイメージによって浮かび上がらせようとするものです。	04-01	実写	30	高
H098	昭和天皇の時代	昭和天皇の時代	04-03	実写	40	高
H046	(新)奥の細道	この映画は芭蕉が門人の曾良と旅に出た当時のコースをたどり、芭蕉の詩心をもとめて製作したものである。	04-01	実写	30	高
H030	漱石の世界	漱石の代表的な作品をとりあげながら、当時の時代的背景をさぐるとともに、漱石の人間性や文学に対する思想についてとらえている。	04-01	実写	27	高
H095	発掘吉野ケ里遺跡	発掘吉野ケ里遺跡	04-03	実写	45	高
H007	文楽	文楽は、能、歌舞伎とともに我が国が世界に誇る三大舞台芸術の一つです。今では、顧みる人が少なく、若い人たちは「ふるくさいもの」という先入観を持って頭から問題にしないようです。このフィルムは、「文学とは無縁な若い人たち」に少しでも関心を持ってもらうために国立劇場が企画監修したものです。	04-01	実写	30	高
H001	平家物語の世界	平家物語は、はじめ盲目の琵琶法師によって語られ、人々に伝えられていったものといわれる。その成立は、平家が壇ノ浦に滅んで、まだ30年とたたない鎌倉の世のことである。	04-01	実写	27	高
H004	法隆寺	1300年の歴史の風雪に耐えてきた大和法隆寺は、世界で最も古い木造建築であり、東洋仏教美術の貴重な遺品である。日本の政治的統一が新しいよりどころを求めようと、仏教美術が創造された時代の姿がここに集大成されている。しかも、その高い芸術性は今もなお生命にあふれ、現代の我々に訴えかける永遠の新鮮さに輝いている。	04-03	実写	23	高
H085	枕草子	枕草子	04-01	実写	25	高

H097	松尾芭蕉	松尾芭蕉	04-01	実写	22	高	
H008	良寛をもとめて	雪に埋もれた五合庵から始まる。自ら住居と定め、詩、歌書にわたって数々の名作がここから生まれた。そして、良寛が心楽しく歩いた野や川は今も昔も変わらない。碑めぐりは良寛の心をたどるこよない道しるべです。	04-01	その他	43	高	
S397	クマちゃんの交通安全	田舎に住むアライグマのチースケ君に町へ引っ越しをして行った友達シロー君の妹のプチ子ちゃんから手紙がとどきました。喜んで手紙を読んだチースケ君はビックリ、シロー君が交通事故で入院した知らせでした。悲惨な子どもの交通事故が多い昨今、幼い子どもにも親しみやすくかわいい動物のアニメーションです。子どもたちの大好きなスイカのスキーが交通ルールを分かりやすく説明します。	05-01	アニメ	13	幼小	
S425	鉄腕アトム交通安全	子どもの交通事故で一番多いのが、飛び出し事故である。この作品では、鉄腕アトムが、飛び出し事故はどのようにして起こるのか、どんなことに気をつければ事故を防げるかを繰り返し教えて、安全ポイントをやさしくわかりやすく身につけさせる。	05-01	アニメ	15	小中	
S347	虫歯になった王様	動物村のライオンの王様は甘い物が大好きです。ある日、王様はケーキのコンクールを行うことを思いつきます。ところが食べるばかりの王様は一等賞を決めません。ある日、王様は歯がいたくて飛び上ってしまいました。王様は何も食べられなくなり、日に日にやせほそっていきます。そこでチュー太があらわれて、王様が大きな口をあけて寝ているうちに口の中に入り、むし歯を治療します。そしてチュー太の注意書きが風船にのって青空に飛びたっていきます。	05-01	アニメ	13	幼小	
K818	おじいちゃんが階段をおりるとき	中学2年生の孝夫は両親と祖父・仙吉の4人暮らし。だが、仙吉は2階にこもりがちだ。孝夫のクラスが文化祭で「高齢化社会」を取り上げることがきっかけになって、孝夫の一家では家族の役割について考え直す。仙吉も2階からおりてきた。	05-01	実写	39	中成	
K704	16ミリ映写機の操作1	16ミリ映写機のフィルム移動機構や音声機構について説明するとともに、手掛け方式の映写機の操作方法や注意すべき事項について説明している。	05-07	実写	30	成	
K848	とおくて近い道	ボケるといふことは、もの忘れという日常生活の中から始まっています。この映画はボケ始めた夫に気づいた主婦が、ボケ相談室の先生や息子、娘たちの協力を得て、心のよりどころを探して努力する姿を描きます。	05-01	実写	32	成	
子育て・女性問題	S339	あたたかい心ありがとう	子は親のうしろ姿を見て育つといわれる。この作品は身近なお年寄りやからだの不自由な人に対する母親の願いを通して、子が思いやりの心を豊かにはぐくんでいく姿を感動的に描いている。	06-01	実写	30	小成
	S337	アリとキリギリス	夏の暑い時も、みんなが遊んでいる時も、休まずせっせと働いて、食糧の少なくなる冬に備えているアリさんと、毎日楽しく遊び暮らしているキリギリスさんの物語。ウォルト・ディズニー作品。	06-03	アニメ	9	幼小
	S463	いじめ・親として	最近、中学2年の仁美の態度がおかしいことに気づいた母・節子は、父・国夫に相談し、その後、わが子がいじめられていることを知ります。両親と学校が、解決に向けて正面から向き合う姿が描かれており、ドラマの中で、親としての対応の仕方や子どもへの接し方について、解説が盛り込まれています。	06-01	実写	30	成
	S494	いじわる狐ランボー	みんなにいじわるばかりするランボーは「いじわるランボー」とよばれていました。しかしほんとうはいい子だったのがわかります。それまで仲間はずれだったランボーもそれからみんなと仲よく遊ぶようになりました。	06-03	アニメ	15	幼小
	S366	いじわる狐ランボーのなみだ	森の仲間からやっかい者扱いされる子狐ランボーにも、本当はやさしい心があるのですが、みんなにはなかなか分かりません。楽しみの七夕祭りに、ランボーをいれるかどうかで集会がありますが・・・。	06-03	アニメ	10	幼小

S386	いたずらあまんじゃく	雨を降らせたり天気にしたりする不思議な力を持ったあまんじゃく。いたずらをして人々を困らせることがおもしろくてしょうがないあまんじゃく。どこかにいますね。いたずらっ子のあまんじゃくと少女が自然の中で心を交流していく。美しい、やさしい、あったかい雰囲気の中に、おもしろさ、善悪の判断の大切さを考えさせる。	06-03	アニメ	22	幼小
S384	稲むらの火	安政元年の秋、豊年を祝うお祭りで賑わっている紀州有田郡広村は、激しい地震に襲われました。津波が来ることを悟った五兵衛は、自分の稲むらに火を放ち、集まった君者に村人全員を連れて高みへ来るよう命じます。津波の去った後、自分の財産を犠牲にして村人の命を救ってくれた五兵衛の気持を知った村人は、協力して村の復興に立ち上がるのでした。	06-03	アニメ	21	小中
S381	黄金のかもしか	心優しい少年が、あるとき黄金のカモシカを助け、二人の間には美しい友情が結ばれます。ところが、欲張りな王様が、黄金のカモシカを捕らえ、金貨を出すよう脅迫します。しかし、どんどん降り注ぐ金貨に埋まって、王様が「もういい、苦しい」と悲鳴をあげた途端、金貨の山は土になってしまいました。インドの有名な昔話のアニメーション。	06-03	アニメ	31	小中
S464	おおきなかぶ	ロシアの民話である「おおきなかぶ」。孫娘のマーシャが、おじいさんと一緒に心を込めてかぶを植えました。やがて大きく育ったかぶを犬、猫、ねずみなどもいっしょになって「うんとこしょ。どっこいしょ。」と抜く場面には、思いやりや優しさが見られます。	06-03	アニメ	21	幼小
S375	お母さんのつうしんぼ	父親の無い家庭に限らず、外に仕事をもつ母親が多くなっているが、こうした家庭での母と子の在り方について、主人公の夕子（小学校5年生）の目を通して、温かく力づくよく描き出す。	06-01	実写	95	小成
S423	おじいちゃんのみこし	興さんに先立たれ楽隠居の身の大助は、元大工仲間の千造たちから誘われ、ふとしたことから子ども御興の制作を手伝うことになる。張りのある毎日を取り戻し腕を奮う大助たちは、やがて近住の老人たちを巻き込んで、生きがいを見つけていく。	06-01	実写	35	成
S402	お兄ちゃんありがとう	お兄ちゃんありがとう。長男（勇樹）が筋ジストロフィーで短かな寿命を宣告されたことにより、自暴自棄になった夫や長女（由加）の非行で崩壊寸前であった家庭が、勇樹の生まれてきたことを必死で詫げるワープロで綴った手紙によって、それぞれ生きる勇気を教えられ、いっそう家族の絆を深めていく様子を感じ動的に描いた作品である。	06-01	実写	52	中高成
S438	おばあちゃんのお手玉	豊川家は、おばあちゃんとその息子夫婦、そして10歳と12歳になる孫の5人家族。ある日、おばあちゃんはささいな事から息子夫婦と口論になってしまいます。その原因は、おばあちゃんが息子夫婦の部屋を勝手に掃除したことでした。お年寄りと家族があたたかい家をつくる物語です。	06-01	実写	36	成
S445	親父が街に帰ってきた	仕事にかまけ、子育ての責任を放棄し、会社以外に存在の場を持たない父親たちが、地区センターの父親学級をきっかけに自己の役割に目覚め、青少年の育成に積極的に取り組んでいく過程を描くドラマです。	06-01	実写	31	成
S446	親と子の小さな旅	ある休日、思わぬことから祖母の家まで歩くことになった一家。落とし物を届けたり、若者とのけんかに巻き込まれたりしながら、日頃見失いがちな家族の絆に気付かされます。最大の収穫はわが子の成長でした。家族・家庭・子育てのあり方を再発見し、その持つ意味を考えさせる作品です。	06-01	実写	30	成
S442	怪談 ～芳一ものがたり～	平家琵琶の名手芳一のもとへ、毎夜、怨恨の死をとげた平家の武士が現れます。墓場に鬼大が乱舞している中で琵琶をかき鳴らす芳一を心配した住職は、このままでは死者に命を奪われてしまうと芳一の体に経文を書きつけますが、耳にだけ経文を書き忘れてしまいます。その夜・・・。	06-03	アニメ	25	小中
S424	学校に行けない子どもたち ～心の居場所づくり～	今日、登校拒否（不登校）の児童生徒数が年々増加しており、しかも低年齢化の傾向が目立っている。登校拒否は、子どもを取り巻く様々な要因が絡み合って、今やどの子にも起こり得るものであるという考え方に基づいて、家庭・学校・地域社会に理解を求める。	06-01	実写	30	成
S332	がんばれスイミー	オランダ生まれの絵本作家、レオ＝レオニの原作「スイミー」をもとに作られた短編アニメーション映画である。ときに優しく、ときに厳しく、神秘的な海の世界に生きる魚たちの知恵と勇気に感動させられる。	06-03	アニメ	26	幼小

S367	聞いてよお母さん ~ぼく自分が怖いんだ~	6年生になった隆は成績が思わしくない。母は躍起になるが、隆は、たまには好きなこともしたいし、僕のペースで勉強したいと訴える。わが子の将来を考えたつもりで、勉強を強要する親に、一人で悩み・苦しんでいるのだろうか。	06-01	実写	33	成
S415	気づいたときが変わるとき	子育てに真剣になればなるほど陥りやすい。過保護と過干渉。子育ては試行錯誤の繰り返しであり、親は自らの誤りに気づいたとき、改める努力をすべきである。親らはそれができるし、子供は親のそうした努力や真摯な態度にこそ、愛情や信頼を感じとるものである。また、子育てに決して手遅れはなく、気づいたときが変わるときである。そのことをある主婦の子育ての日々を通して考える。	06-01	実写	31	成
S440	クオレ物語 ~炭屋の子ベッチ~	{クオレ}それはイタリア語で「心」とか「愛」といった意味を表す言葉です。ベッチは同級生のノビスから「炭屋の子」といじめられ、学校を休んでしまいます。見舞いに来た友だちからその話を聞いたベッチの父は、参観日に出かけ、先生にそれを話します。それを聞いたノビスの父は・・・。	06-03	アニメ	25	小
S510	くまのおいしゃさんシリーズ(1) くまのおいしゃさん	くまのお父さんは、森のお医者さんです。くまのお医者さんは、みんなの病気やケガを治すために、毎日どこにでも自転車で乗って出かけていきます。ある日、自転車で乗っていてケガをしたキツネのトトは気を失っているが、サベアと、エベアに謝りたいとつぶやきます。はじめは意味の分からなかったお父さんですが、ふたりの“自転車がほしい!”という言葉でやっとわかりました。お父さんは、二人に青い自転車をプレゼントします。	06-03	アニメ	23	幼小
S511	くまのおいしゃさんシリーズ(2) すてきなコンサート	くまのお父さんは森のお医者さん。あるクリスマスの日、お父さんに歌手のエリザベツさんから、クリスマスコンサートの招待状が届きました。サベアとエベアの姉妹は大喜び。お父さんと一緒に出かけましたが、次々と病人やけが人の知らせが入り、お父さんはコンサート会場から治療に行きました。挿入歌「サンタクロースがやってくる季節」にあわせて楽しく歌いましょう。	06-03	アニメ	23	幼小
S480	クマのミナクロと公平じいさん	山の奥まで開発が進む今日、野生動物たちもこれまでのようには生きられなくなってきました。人里に下りてきたクマが、作物を荒らし、銃で撃ち殺される。かつて、静かな山で平和な暮らしをしてきたクマは、既に絶滅の危機に瀕しています。日本の自然や野生の動物たちをどうしたらいいのでしょうか。	06-03	アニメ	23	小
S319	虔十公園林(けんじゅうこうえんりん)	“雨二モマケズ”に象徴される宮沢賢治の理想像、少年虔十の自然と人をかぎりなく愛したおらかな生き方を描く。	06-03	アニメ	18	小
S396	健太のトンボ日記	都会に住む一人のひ弱な少年が、夏休みに田舎の父親の実家で過ごす中で、トンボ公園を知りそこを守り育てている地域のおとなや子どもたちの交流を通して自然と触れ合い、そして、トンボという一つの小さな命さえ、生きるために一生懸命であることを体験を通して学び心身共に成長していく姿が描かれている。	06-03	実写	42	小中成
S490	ゲートボールの青春	ゲートボールに病みつきになった頑固で凝り性のお年寄りが妻や家族、地域の人々と繰り広げる悲喜劇を明るくコミカルに描いた作品です。	06-01	実写	29	成
S449	幸福(こうふく)	5日程前に定年退職した夫は、日数の残った定期でいつもと同じ満員電車に乗り、あてのない一日を送っています。その行動をいぶかる妻は、夫と一緒に電車に乗りますが、行く先々でいやなことが起こります。夫婦とは、親子とは、幸福とはを問題提起する作品です。	06-01	実写	35	成
S434	心の中のふるさと	一流企業を辞め、ふるさと天草の自然の中で暮らし、子どもたちに開いた塾が徐々に成果を上げていく。そんな先生のもとに、自分の子どもの教育に行き詰まった女性が訪ねて来ました。先生は自分の貧しい幼年時代を振り返り、親の子どもに対する温かさを話し始めます。	06-01	実写	40	成

S385	子どもの失敗を生かす	子どもの失敗を責めることはやさしい。しかし、子どもの心をふるいたたせ、やる気を起こさせるのも失敗があってこそである。挑戦がなければ失敗はない。やる気があるから失敗もある。どうすれば子どもの失敗をやる気に結びつけ、成長への糧にできるか。要はその時の態度いかんである。それを日常の母子のやりとりで分析、考えさせる。	06-01	実写	30	成
S452	子どもの社会性を伸ばす	子どもは家族とのふれあいを中心にして、まず生きていくために必要な社会性を身につけていきます。この作品は、埼玉県入間市の、子どもたちが仲間と遊べるように地域の親たちが作ったプレイパークや、東京都日野市のお年よりの家を訪ねて地図を作る子ども会の様子を紹介します。	06-01	実写	20	成
S461	子どもの本音聞こえてますか	子ども110番（電話相談室）に寄せられる多数の声にじっと耳を傾けると、大人社会が抱えている問題が、子どもたちに投影されていることに気づきます。この作品は、中学2年の女子と、小学6年の男子の二人のケースをドラマ化し、親子の信頼の絆を築くための方策を考えさせます。	06-01	実写	28	成
S435	根気づよい子に育てる	本来、子どもは自主的に、やるべきことをやるものです。ところが、大量消費社会の広がりや欲望の肥大化の風潮の中で、親は子どもの言うがまま与え過ぎてはいないでしょうか。その結果、子どもを他人まかせ症候群にさせてないでしょうか。ある小学生の親の姿をとおしてそれを描きます。	06-01	実写	31	成
S403	ごんぎつね	新美南吉原作「ごんぎつね」を素材にアニメーションにより映画化したもので、いたずらばかりしているきつねが、母を亡くした兵十の悲しみを知り、兵十に尽くすが、その善意が通じず悲しい結末を迎えるという物語である。	06-03	アニメ	19	幼小
S351	サギの親子と宝物	サギの家に一晩とめてもらったカラスが旅立つ時、サギさんが子どもに恵まれますようにと言う。サギ夫婦はこんなに宝があれば子どもなど要らないと思っていたが、翌年ヒナが生まれると、その可愛さにこれこそ本当の宝だと思う。しかし、悪いキツネがヒナをよこせと迫ってくる。カラスの助言で、家中の宝を少しずつキツネに渡し、その間にヒナを訓練し、やがて、やっと飛べたヒナと共に森へ逃げていく。	06-03	アニメ	24	幼小
S358	しあわせ色の小さなステージ	まだ学校へ行けない5歳の女の子「ひろみ」は、分校の若い女の先生が大好きで、まねっこ1年生として楽しい生活を送る。ところが、先生は町の学校へ転勤……。緑の自然に取り巻かれた山村で、小さなしあわせを数えながら成長する少女、それを取り巻く人々の限りなく温かな心の交流を描く。	06-03	実写	45	小中高成
S305	白いサメ	原作「棕鳩十」児童文学のアニメーション。一人の漁師がこの大ザメに襲われて殺された。海の魔王と呼ばれる白い大ザメと戦う少年春吉、丈太郎。	06-03	アニメ	30	小
S478	新・泣いた赤おに	「むかしむかし、山奥のある村の近くに、若い赤鬼が一人で住んでいました……。」で始まる赤鬼と青鬼の友情にまつわる物語。	06-03	アニメ	20	幼小
S377	すてき坂	小学校4年生の武は、7年前交通事故で父を失い母がひくラーメンの屋台を手伝いながら生活している。この二人を取り巻く、日常生活の中にあるいじめ、塾、小学生の友達関係等を描く。少しでも生活を楽しくしたいと願ったとき、何もしいでは決して叶えられないことを知った母子は、次第に、まわりの人々と温かい関係を築いていく。	06-03	実写	52	小中
S470	すばらしい私のおじいちゃん	小学5年の有希の家族は、一人暮らしの祖父・豊吉の家に引っ越すことになりました。豊吉は犬が苦手、有希がこれまで飼っていた愛犬・ラッキーを連れてきてはだめだと断ります。祖父への反感をもっていた有希も、板金職人として仕事に打ち込み、ボランティアで書道の指導をする祖父の姿をみているうちに……。	06-03	実写	35	小
S436	生命のシグナル	「自殺未遂の14才の少女を保護したが、先生のお名前しか言わないので……。」あるマンションから連絡を受けた幼稚園長の由紀は、卒園生の薫の姿に驚きました。あの明るかった薫が……。とりえず入院させた病院で話を聞くうち、家庭環境に問題があることがわかってきました。	06-01	実写	30	成
S498	空へ！夏のエール	桜井竜也14歳。友達とふざけあっている、どこでも見かける中学生である。しかし、竜也は窃盗行為を繰り返し、短期保護観察処分となった。あふれるモノに取り囲まれて気持ちが揺れ、父との関係もうまく見いだせない竜也を担当保護司の太田桃子は、地区の社会参加活動に誘う。	06-01	実写	45	中高成
S293	竹取物語	子どもが欲しいと願う老夫婦が、竹の中から金色に輝く小さな女の子を授かり、かぐや姫と名づけ大事に育てるといふ物語をアニメーションで描く。	06-03	アニメ	31	幼小

S509	だるまちゃんとだいこくちゃん	もうすぐ春。そんなある日、だるまちゃんとだるまこちゃんとうさぎちゃん達と遊んでいました。すると、聞きなれない声が・・・声のする方に行ってみると、そこにはふしぎな親子がいました。	06-01	アニメ	18	幼小
S491	だるまちゃんとてんぐちゃん / だるまちゃんとかみなりちゃん	「春」だるまちゃんとてんぐちゃん：サクラが満開の境内に現れたてんぐちゃん。へんなぼうしに長い鼻、へんなうちわにへんなゲタ。だるまちゃんはすっかりてんぐちゃんのとりになっていました。 「夏」だるまちゃんとかみなりちゃん：虫とりにでかけただるまちゃん。するとそこに、いなづまとともにかみなりちゃんがおちてきました。だるまちゃんは、かみなりちゃんといっしょに、空の上のかみなりの国に行くことになりました。	06-01	アニメ	23	幼小
S378	小さなチャンピオン ～子鹿のモーリス～	子鹿のモーリスの悩みは背が伸びないことです。年に一度のチャンピオンを決める日、大鹿のサンダークラブに負けたモーリスは、同じく負けたバルサムと仲良くなり、二人は協力して改めてチャンピオンに挑戦します。一人より二人、二人より三人と、協力することの大切さを考えさせるウォルト・ディズニーのアニメーション。	06-03	アニメ	9	幼小
S484	チョッちゃん物語（字幕入り）	この映画は、戦後50周年を記念し、黒柳徹子さんの母親で現在、エッセイストとして活躍している黒柳朝さんの自叙伝をもとにアニメ化しています。	06-03	アニメ	80	小中
S392	夏，そよ風	保護観察処分となった16才の少女、間もなく保護観察が解れる20才の少女、そして、小さな工場を経営するかたわら非行少女の世話をする保護司のかかわりあいを描き、保護司や非行防止の大切さを訴えるとともに、温かい心のふれあいを社会全体に求めるものである。法務省主唱“社会を明るくする運動”の広報映画である。	06-01	実写	44	中高成
S407	日本のおとぎばなし「すもうおばけ」	山寺に住む小僧のボク念は、とても体が大きくて力持ち。そのボク念を簡単に負かしてしまう妙な殿様が現れた。さて、そのすもうの強い男の正体は！？	06-03	アニメ	12	幼小
S408	日本のおとぎばなし「天狗の羽うちわ」	バクチ好きの男が、ドンブリ鉢にサイコロを入れて遊んでいると、突然空から天狗様が降りてきた。天狗様は、「そのサイコロを借してくれんかの？」と言って、不思議な羽うちわを借してくれた。さて、大喜びの男は！？	06-03	アニメ	12	幼小
S410	日本のおとぎばなし「彦一とんちばなし」	むか？し肥後の国に、彦一というとても頭のまわる男がおった。今日も山奥のてんぐ様の家では、てんぐ様と狐くんが、彦一にしてやられた話しをしてる。その話しというのは！？	06-03	アニメ	12	幼小
S409	日本のおとぎばなし「貧乏神と福の神」	なまけ者のゆのすけが、八百屋で働くおいくという娘と夫婦になった。それから人が変わったように真面目になり、よく働き、くらし向きもよくなった。ところが大晦日の夜、屋根裏から「シクシク」と泣き声が聞こえてきた。	06-03	アニメ	12	幼小
S322	日本昔ばなし さるとかに	昔々、働きものカニのお母さんが、ある日畑の帰り道で大きなオニギリをみつけましたが、ずるいサルにだまされてカキの種と交換しました。日本民話をアニメーション映画化した作品。	06-03	アニメ	10	幼小
S326	日本昔ばなし つるのおんがえし	昔々、若者が鶴を助けました。ある日美しい娘が訪ねてきて若者と一緒に暮らすようになりました。娘は美しい反物を織り若者は喜びました。もう一反織る時、若者は約束を破って八夕場をのぞいてしまいました・・・。	06-03	アニメ	10	幼小
S376	No！と言うのも親の愛	落語家・三遊亭円楽の辛口家庭教育論をベースに、親の信念の大切さ、親が子に遺す最高の遺産である躰、親の愛の厳しさ等について、それぞれエピソードで綴り、現在の家庭教育に失われているものは何かを考える。	06-01	実写	30	成
S499	走れタンコロひかりのなかへ	かけがえのない“生命”を慈しみ、尊重する豊かな心の育成。それは、子どもたちの様々な問題行動の多発する昨今にあって、今、もっとも必要とされるものの一つではないでしょうか。この作品は「江ノ電の運転手になりたい！」という長年の夢を多くの人々の援助で実現させた、ある心臓病の少年の実話を子どもから、大人まで幅広い人々の共感を呼び起こすドラマとしてまとめたものです。	06-01	実写	49	幼小成

S427	母へ～子どもたちの心～	何でもない親と子の会話のような電話を「子ども電話相談」にかけてくる子どもたち。性の悩みやいじめの悲鳴ならともかく、こんな、悩みともよべない子どもたちの声が、電話相談の多数を占め始めているのはなぜでしょう。ゆとりのない時代の、子どもの心の孤独を見つめます。	06-01	実写	30	成
S336	ビルマの豎琴	竹山道雄原作「ビルマの豎琴」のアニメ版。罪なくして戦争の犠牲となり遠い異国に白骨をさらす同胞の霊をとむらうためにジャングルに残った水島上等兵の物語。	06-03	アニメ	48	中高
S363	ピュア島の仲間たち	南太平洋の真ただ中にあるピュア島。妖精たちは花火を上げ、美しい夜空に酔いしれています。ところが、その妖精たちを生け捕りにしようと、悪人スマッジ船長がやってきます。さあ大変。ピュア島のすてきな仲間のやさしさと勇気に満ちた、夢と冒険のアニメーション。	06-03	アニメ	38	幼小
S492	ファミリーボランティア入門	家族で取り組むボランティア活動の手引きとして、いろいろな分野で活動する家族を紹介し、その魅力をわかりやすく伝えます。	06-01	実写	20	成
S370	フランダースの犬	ベルギーのアントワープ近くの小さな村。心やさしい少年ネロは、画家になることを夢見ながら、おじいさんと愛犬パトラッシュ、そして幼なじみのアロアや友だちに囲まれて、貧しいながらも幸せな日々を送っていました。ところが、そんなネロに次々と不幸がおそいかかります。おじいさんの死、風車小屋への放火のうたが、絵画コンクールの落選…。そしてクリスマスの夜、すべてを失ったネロがたどりついた場所は、あこがれ続けていたルーベンスの絵がある大聖堂だったのです…。	06-03	アニメ	90	幼小
S341	ヘンゼルとグレーテル	森の中に置きざりにされた兄妹が、いろいろな冒険の末に家に帰りつくという。おなじみのグリム童話の中の傑作のひとつを楽しいアニメーションとして構成した作品である。	06-03	アニメ	20	幼小
S404	別に・・・わかんない・・・どっちでも・・・	人に物を頼まれて平気でスッポかし、何の罪の意識もない。“何故こんなことになった？”と返事を聞くと、“別に・・・、わかんない・・・どっちでも・・・”曖昧、適当、自己防衛、その場限りの言い逃れ。こんな便利な言葉はない。親はイライラするばかり。オムニバス社会教育ドラマである。	06-01	実写	30	成
S406	ぼく学校はきれい～ひよわな心～	この映画は、ある小学3年生の登校拒否の実例を再現しながら、その原因をさぐっていく。子どもの心の発達に最も大きな影響を与える生育環境、中でも特に重要な親子関係のあり方にスポットを当てて、登校拒否を起こさないまでも、現代の子ども達がそれぞれに共通の問題にゆき当たっていることを気づかせてくれる。	06-01	実写	30	成
S394	路(みち)	「六尺の道を六尺に歩ける人になれ。人には目があるんだよ。」これは、この物語の父親の脳裏によみがえった40年も前の思い出、母の教えである。他人の自転車を盗んで安易に乗りまわしている子どもの罪悪感の欠落に対して、親が自ら生きる路を示す物語で、善悪のケジメの大切さを訴えるものである。	06-01	実写	32	小中成
S422	みにくいあひるの子	ある田舎の牧草地でのお話。お母さんあひるが一生懸命に卵を温めていた。そして次々に元気なヒナたちが顔を出し、産声をあげ始めた。しかし、大きな卵がひとつ残ってやっと生まれたヒナは…。	06-03	アニメ	12	幼小
S382	木龍うるし	きこりの権八と藤六は、池の中にたまっている高価なウルシをみつけました。これを独り占めにしたかった権八は、木で龍を作り池に沈めますが、その龍が生きているように見えたので大慌て。藤六の人の良さに打たれた権八は、全てを打ち明け、村人みんなに分けることにしましたが…。小学5年国語の教材のアニメーション。	06-03	アニメ	20	小
S417	八重ちゃんのフライパン日記	お父さん、おばあさんと3人暮らしの小学校4年生・八重ちゃんは、明るいがんばり屋。家事や料理に励み、日々の生活を日記につけている。学級通信でその日記が発表されて、八重ちゃんの料理日記は、クラスやその父母の間でも評判になっていった。	06-03	実写	53	小

S348	約束 ~ アフリカ水と緑 ~	「僕、きっと帰ってくる」「ほんとう!」と堅く交わした約束が、15年の後に実現する。アキラは新たにアフリカの砂漠に緑もたらず技術を伝えるに、そしてカリムは、アキラの父親が伝えていった技術の継承者として活躍している。この2人の若者の再会と交流を柱に、砂アラシやかんばつの激しさがあrawしながら、水の大切さを実感をもって教え、水と緑と自然への新たな知識を育てよう工夫している。	06-03	アニメ	16	小
S364	やさしいどうぶつのおやこ	動物の親子の愛情あふれる触れ合いや、子育ての様子を通して、動物への親しみをもたせ、動物愛護の心を育てるとともに、母と子のきずな、スキンシップの大切さ、生命の貴さ、思いやりの心の大切さなどについて考えさせる。	06-01	実写	21	幼小成
S431	雪渡り	雪がしっかり凍って大理石よりも堅くなり、いつも歩けない野原の上もどこまでもいける日、四郎とかんこの兄妹は、白い子狐の紺三郎と出会いました。紺三郎は、決して狐は人をだますことはない。それなら今度幻燈会にいらっしゃいと言いました。そして、幻燈会の日がやって来ました。	06-03	アニメ	23	小中
S472	ランボーのあぶないいたずら	ランボー・シリーズの第6作です。人間が仕掛けた落とし穴に興味を持ち、ヤギじいさんの忠告を無視してその場所までいくと、樹木にたくさんの果実がなっていました。ランボーにはいたずらができます。立入禁止の立て札の向きを変え、仲間のラックやエンタに果実のある場所を教えに行きましたが・・・。	06-03	アニメ	16	幼小
S443	鹿鈴(ろくれい)	大鷹に襲われ、親鹿とはぐれた子鹿を少女がやさしくいたわってやりました。子鹿とすっかり仲良くなった少女は、毎日が楽しくて仕方ありません。しかし、子鹿と別れる日が、ついにやってきました。美しい水墨アニメーションと音楽だけで物語を進める変わった作品です。	06-03	アニメ	18	小
S428	わが子の長所みえてますか	親は意外に自分の子どもの本当の姿が見えていません。短所にばかりふりまわされ、長所を見落としがちです。主人公・良子が、近所の子で小学1年生の伸夫を3日ほど預かったときの出来事とおして、わが子の長所を見出し、伸ばすにはどうすればいいか考えさせます。	06-01	実写	30	成
S383	わたしおてつだいねこ	夕食の支度にてんでこまいのお母さん。「ああ忙しい。猫の手も借りたいわ」。そのとき玄関のチャイムが鳴り、出てみると稿模様のねこが風呂敷をもって立っていました。「わたし、お手伝いねこ。この家で働きます。」お手伝いの大好きなねこさんが引き起こす失敗の数々と、それを優しく見守る周囲の親切な人々との心の交流を描く。	06-03	アニメ	19	幼小
K747	赤ずきん	おばあちゃんのところに行くことになった赤ずきん、途中で悪いオオカミにだまされ、おばあちゃんを食べられてしまいます。なぜ、お母さんのいいつけを守らなかったのか、こうしてはいけないという事を教えています。	06-03	アニメ	13	幼小
K829	明子のハードル	中学2年生の明子と母親を主人公に、母子家庭ゆえに差別されていると思っていた明子が、親友を巡って学校で起きた事件を契機に、自分も親も差別する心を持っていたことに気づき、差別をしない、差別を許さない、差別に負けない心を持つとうと思うまでの物語です。	06-01	実写	41	中
K812	いきいき老後	上野動物園のシルバーガイド活動のほか3事例を紹介し、充実した老後を送るには、年をとっても現役精神を失わず、家庭や地域の中で自分の役割を持ち続け、生きがいをもって生活する事の必要性を描いている。また、そうした生き方は、老後の生きがいにもつながることをあわせて示唆している。	06-01	実写	30	成
K807	いじわる狐ランボーの勇氣	森の動物たちが遊んでいるところへ子狐のランボーがやってきて、いたずらをはじめた。大きく揺れるブランコに怖くなって泣き出すキキ・・・でも、それはいつも見られる森ののどかな風景だ。しかし、その平和が破られた。暴れ者の狼、ドラゴンが現われたのだ。ドラゴンの強さにひかれたランボーは、そのあとに従ったのだが・・・。“悪いことは悪い”とハッキリ言える勇氣をもつことの大切さを訴える。	06-03	アニメ	15	幼小
K751	うかれバイオリン	親切で心のやさしい少年ハンスが、旅の途中で助けた老人からもらった不思議なバイオリンで邪心をもった悪者たちをこらしめるという物語。	06-03	アニメ	20	幼小

K798	海ガメさんのちえ	子ガメのマックスは、暴れん坊鯨に怪我をさせられた母ガメのために怪我に効く不思議な赤い実を取りに行くが、象のゴーマンや乱暴者の鯨にことごとく邪魔をされる。そこで、マックスは「知恵と勇気」で象と鯨をけしにかけて綱引きをさせ、降参させてしまう。胸のすく小さな亀の知恵と勇気の物語である。	06-03	アニメ	20	幼小
K776	お母さんもっと聞き上手に・・・	母親が、自分の話をよく聞いてくれないことへの不満から、ストレスがたまって爆発する幼稚園児の佑太。先生から指摘をうけて、はじめて気づき、反省する母親の姿を通して、聞いてやることの大切さを考える。	06-01	実写	30	成
K741	お月さんもいる	日本創作民話人形アニメーション。昔、四国・土佐の月灘というところに「おりの」という娘がおじいさんとふたりで暮していました。ある日、おりのは砂に埋まった「ももいるサンゴ」をひろいました。	06-03	人形アニメ	24	小
K846	鬼の子とゆきうさぎ	鬼の子は捨てた手毬を返そうと人間の村まで出てきました。手毬を探していた女の子ユキは、お礼にゆきうさぎをあげました。鬼の子とユキとの不思議な友情の中から、私たちが忘れていた、やさしさやおもいやりの心、家族のぬくもりが、あたたかい感動として伝わってくる作品です。	06-03	アニメ	22	小
K863	かえだま日曜日	ふとしたことから、小学6年・勇介の替え玉として駅伝チームに参加することになった同学年の従姉妹・ユミを主人公にドラマが展開します。彼女が、日々仲間と走り抜くことの中から、人間的に成長していく姿を描きます。友情や思いやり、共に助け合うことの大切さを考えさせられる教材です。	06-03	実写	48	小
K811	風を見た少年	少年院からの仮退院後、愛情も配慮も失い自分流にしか生きることができなかった少年が、担当保護司と周囲の人々のあたたかさに支えられて、見事に立直っていく姿を描いている。社会の人々に、非行少年が立直るための理解と協力を求めると同時に、子どもには何が必要かを私たちに切々と訴えかける作品である。	06-01	実写	45	中高成
K788	君は素晴らしい	かつて私達の周囲には、人間の在りようや生き方をごく自然に子ども達に示し、理屈でない進路指導を行ってくれる親がいた。この映画は、そういった一人の親の実話である。オヤジの家族愛はいろいろな示唆に富む。人間らしく真摯に、純粋に生きることの素晴らしさと幸せとは何かを考えさせる。	06-01	実写	30	成
K729	くずの葉ぎつね	「恋しくば訪ねきてみよ和泉なるしのだの森のうらみくずの葉」歌舞伎や浄瑠璃でも有名な、日本の古い伝承「くずの葉」の物語をもとに創作した親子、夫婦の愛情をうたいあげた美しいアニメーション。	06-03	アニメ	27	小中
K800	心ふるえてます ～思春期のまがりかど～	家庭や親の在り方の中に子どもが非行化する要因を探り、思春期の子どもたちが今日置かれている抑圧された心理状態をつぶさに描き、子は親の心を映す鏡であることを示唆する。そして子どもの非行を未然に防ぐには、親が子どもとの間に深いきずなを作り上げていくことが、いかに大切であるかを訴える。	06-01	実写	31	中高成
K789	祖母・母そして子どもたち ～人生80年・わが家の生活設計	人生80年時代、日本人のライフサイクルは大きく変わりつつある。実り豊かな人生を築き、ゆとりある老後を送るために、早めに、長期の生活設計を建てることの大切さをある中年夫婦の家族とその母の生き方を通して強く訴えかける。	06-01	実写	30	成
K813	空高く夫婦とんぼ	長年連れそってきた夫が脳卒中で倒れ、入院。夫の闘病生活をきっかけに、妻はリハビリ、介護に取り組む過程で互いのかたいきずなで気づいていく。夫婦のあり方を見つめ直し、豊かな人間関係を結ぶことの大切さを確かめ、高齢化社会の中で「とても美しく老いる」ことの意味、夫婦、三世代家族のあるべき姿に明るい示唆を与える作品である。	06-01	実写	30	成
K790	小さな家族 ～おばあちゃんがいてほくがいた～	交通事故で両親を失った昭彦(小4)は、おばあちゃんと生活することになった。人間はしょせん一人で生きるもの、生きている限り助け合い、支え合うべきもの。こういうおばあちゃんの豊かな人間性につつまれて昭彦は育っていく。さりげない日々の生活を通して、人間の在りよう、家族の意味を感動的に問いかけてくる。	06-01	実写	55	小中成
K783	父ちゃんと僕たちのスクラム	母親を事故でなくした小学生の兄弟と父親が、地方都市に転居して新しい生活を始める。その町で様々な事件にぶつかりながら、家族のきずなを深め、明るく、遅く生きていく様子を描く。	06-03	実写	48	小中

K859	友だちがいてぼくがいる ~登校拒否にうち勝つ~	学校に行きたくない部屋に閉じこもる幸一(11才)に、父の誠が激しくドアをたたいて怒鳴ります。母の直子はただおろおろするばかり。事情を打ち明けられた担任の鈴木先生は、教育相談の杉浦先生に相談します。解決の過程で、両親はわが子の育て方が間違っていたことに気づきました。	06-01	実写	34	成
K877	双子の星	大ガラスの傷口から必死でサソリの毒を吸い取るボウセ。自分が死んでしまうかもしれないのに……。双子の星チュンセとボウセがおりなすやさしい、やさしい宮沢賢治のメルヘンの世界。	06-03	アニメ	27	幼小
K720	べっかんこ鬼	人形アニメーション映画。むかしフエフキ峠にいっぴきの特別おかしな顔をした鬼が住んでいた。里の娘「ユキ」は、小さい時から目が見えず、山の猟師である父と二人暮らし。ふとしたことから、鬼はユキを山奥の小屋に連れかえるのだった。やがて二人は、夫婦となるのだったが……。	06-03	人形アニメ	24	幼小
K839	マザーズロボット ~表情のない子どもたち~	子どもたちを待ち受けているきびしい競争社会を思うと、ついわが子を100%管理し、意のままにコントロールする育て方をしたくなるものです。しかし、そのことが人間にとって最も大切な自立心や感性の発育を阻害してしまうのです。この作品は、その事例をドラマ化したものです。	06-01	実写	30	成
K769	またあえるねツバメ君	岩ツバメのロックが春になって元の家に戻ってみると、そこにはスズメのキッチンが住みついていた。ロックとキッチンは一緒に住む事になります。二人は仲良く楽しい夏を過ごしますが、秋が近付き、ロックは南の国へ旅立たねばなりません。キッチンはまた会う約束をしてロックを旅立たせます。	06-03	アニメ	24	小
K793	山に輝くガイド犬平次号(ヘイジゴウ)	九州の屋根、九重連山で、長年登山者の命を守り、多くの人々に親しまれたガイド犬「平次」号。大自然のたくましく生きる「平次」の一生を通して、子ども達に生きる喜びと、命の大切さを考えさせる。	06-03	実写	28	小中
K799	夢ものがたり	古典落語の名作人情ばなし「芝浜」をもとに、江戸の裏長屋に住む魚屋の勝五郎と女房のおさよのやりとりで仔犬をからませ、ユーモアとペースをまじえて描いた作品である。「働くことの尊さ」、「夫婦の大切さ」を訴える。	06-03	アニメ	20	小中
K850	ランボーのうそ	子孤のランボーはちょっぴりいたずら好き。今日も自慢の手作りの弓矢で遊んでいましたが、皆が止めるのも聞かずカモの群れに矢を撃ちます。その後、矢が刺さった子ガモが見つかったからさあ大変。苦しまぎれに「人間のせいだ」と言いますが……。うそをつくことの罪の大きさを教えます。	06-03	アニメ	15	幼小
K847	わが心の朝	専業主婦の生活から思い切って働きに出ることにした恵子。しかし仕事ではパートの限界を思い知らされ、家庭では家族の協力が得られません。やがて恵子は「自分史」の講座仲間の生き方に共鳴して家族に家事の分担を宣言します。新しい視点から女と男の生き方を探ろうとする作品です。	06-04	実写	53	成
S373	おじいちゃん元気になってね!	本当の優しさ・思いやりとはどんなものだろう。動物好きで心優しい小学校4年生の正人は、ふとしたことで、気難しい頑固な伸二郎老人や光枝おばあちゃんと知り合いになる。二人が入院していることを知った正人達は、学級でお見舞いに行く。傷ついた鳩の手当を折り混ぜながら、世代を超えた美しい友情を描く。	08-01	実写	47	小成
S444	風の色が見えた	定年後、日々なすすべもなく妻べったりの生活を送っていたある男が、シルバー人材センターで働く友だちや、ボランティア活動に励む仲間を知り、やがて自らも社会参加の喜びを知るまでの、涙と笑いの楽しいコメディタッチの物語です。	08-01	実写	32	成

その他

S466	10万時間どう生きますか	退職後の20年間をどうやって生きていくのか。老後の生きがいを真剣に考え、楽しく、ゆとりをもって過ごそうとしている人たちの事例を紹介します。国立科学博物館での案内や指導者としてのボランティア、小学校でのボランティア講師、落語に打ち込んでいる人々などの例が紹介されています。	08-03	実写	35	成
S507	旅のともだち	幼なじみ3人組の男の子が、鉄道写真コンテストの写真を撮るため、旅に出かける。途中、一人の少女も仲間に入り、旅を通じて友情をさずいていく物語。	08-06	実写	47	小
S459	ポコアポコ ~泣いて笑って泣いて~	大阪府松原市に住む、車いすの福井千佳子さんが、障害を持ちながら、空缶を捨ててそれをお金に替え、そのお金でお年寄りに車いすを5年間に100台も贈った、心温まる実話の映画化です。千佳子さんの努力をとおして力強い生き方と人々の暖かい励ましを感動的に描きます。	08-03	実写	53	小中
S467	まちの元気を育てよう! ~高校生の地域活動~	栃木県足利市。ここで、学校の枠を越えて集まっている「風」というボランティアグループの活動が紹介されています。老人ホームへの訪問、総合福祉センターボランティアルームでの企画活動の様子など。また、山形県石田町で、高校生が「雪中野焼き」へボランティア参加している様子も紹介されています。	08-03	実写	20	高成
S503	若者の主体性を活かした地域活動	近年、若者の活動が停滞しているといわれています。この映画は、2つの事例を通して若者が主体性を持って地域活動に取り組めるようにすることがどんな意味を持つのか探っていきます。	08-03	実写	20	中高成
K806	美しい地球をよごさないで	東京に住んでいる女の子なな(小三)は、しんせきのおじさんが営んでいる山小屋で不思議な絵本と出会う。絵本の中からとびだした女の子(イギリス人)と友だちになったななは、世界中を旅する。イギリスで出版された「美しい地球をよごさないで」という本の中から、自然保護を訴える70数か国の子どもたちの声をアニメを交えながらドラマ化した作品である。	08-05	アニメ	25	小中成
K869	風はみどりに	この映画は、障害者と共に生きようとする小さなボランティアグループが、自分たちの心の中にある差別意識に気づき、解消していく姿をさわやかに、そして力強く描き、同和問題解決への積極的な態度と実践力を育て、人権尊重の精神を基盤とした差別のない明るい地域づくりをめざす一歩となることを願って制作されました。	08-03	実写	50	成
K828	社会を支えるアメリカのボランティア	ボランティアの活動なしに社会生活は成り立たないと言われているアメリカ。その活動の原動力は何でしょう。アメリカの社会に根つき、日常化している様々なボランティア活動と、その特徴を描きながら、アメリカ社会を支えているボランティアの心を考えます。	08-03	実写	30	成
K857	何かしたい ~ボランティア部をつくった高校生たち~	新しく「ボランティア部」を作ろうとする高校生たちが、地域社会でのさまざまな体験を通して成長していく姿を描いています。ボランティア活動が貴重な体験となり、生きることの意味を教えるものであることを知ってもらいボランティア活動の推進を図ろうとする作品です。	08-03	実写	30	高
K819	学ぶ喜び生かす喜び ~生涯学習とボランティア~	今日、人々が自らの関心にもとづいて日頃学習したり、身につけたりした成果を地域社会で生かしていくことが求められている。今、各地で展開している学習ボランティアの活動をとおして、学習の成果をどのように生かせるかを考える。	08-03	実写	30	成
K870	みんないっしょに	この作品は、青少年のボランティア活動の手引きとして高齢社会の現状を理解し、ボランティア活動の視野を広げるために先駆的な活動事例を紹介し、その魅力をわかりやすく伝える教材です。	08-03	実写	20	中高成
1825	歌舞伎をみる	歌舞伎を見たことのない若者たちに、歌舞伎の面白さや楽しさを感じてもらうための歌舞伎鑑賞入門です。	08-02	実写	41	中高成